

佐倉市救急医療情報キット

災害・救急時
に備えて！

佐倉市



救急医療情報キット

今年75歳になられた皆さんに、救急医療情報キットを地区の民生・児童委員がご家庭にお届けします。また、75歳未満の方でも必要とされる方にはお届けしますので、地区の民生・児童委員に声をかけて下さい。
いざという時に、救護活動の大きな助けになります。

佐倉市では、25年度から75歳以上の在宅でお暮らしの方に『救急医療情報キット』を配布しています。それに伴いまして、これまで個人情報保護の観点から、民生・児童委員にも開示されなかった高齢者名簿(75歳以上)がいただけるようになりました。

今後、75歳になられた皆さんに(名簿に基づいて)地区の民生・児童委員が訪問し、キットを配布すると同時に、地区の高齢者の情報を得ることができ、日頃からの活動、災害時の要援護者の把握などに活用しています。また、なかなか把握できなかった自治会に加入されていない地区の高齢者についても情報が得られ役立っています。

【救急医療情報キットとは】

いざという時に、連絡先、病歴、かかりつけ医、服薬内容など記載した情報シートを救急医療情報キットの容器に入れ、これを冷蔵庫に保管しておくことにより、医療・救護活動の大きな助けになります。容器・用紙とキットの存在を知らせる玄関ドア用のシール及び、冷蔵庫ドア用のマグネットシールが同封されています。

キットの使用方法など、詳細は容器の中のリーフレットに説明されていますが高齢者には難しいようで、訪問した際に詳しく説明したり、一緒に記入したりすることで、高齢者の情報把握にも繋がっています。

南部地域包括支援センター との連携



佐倉市には、中域圏5か所に地域包括支援センターがあります。根郷地区は南部地域包括支援センターの圏域で、毎月の定例会にも出席いただき情報交換したり、事例検討したりしています。また、ケアマネさんとも情報交換する機会を設けています。包括支援センターのケア会議に参加し、平常時から、ケアマネと民生・児童委員との連携を図り、特に災害時の対応等について地区の安全マップの確認やお互いの役割についての話し合いを持っています。私たちにとっても、高齢者のことで困った時は、包括支援センターが頼りで力強い存在です。

自治会・まちづくり協議会との連携

自助・共助が
最も重要です！

自治会と連携・協働した民生・児童委員活動が重要で、自治会の防犯や防災の組織に加わっての要援護者マップ作り、また、地域住民の交流や居場所づくりを進める中で、自然と色々な情報が入ってきます。その上で、地域を支えるには民生委員だけでなく、地域の中で協力してくれる人を増やしていくことが大切です。